

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年四月度 入選句 (投稿総数八百七十七句・小中学投句数二百七十五句)

特選

選者 和田 勝子

春雨がねむる草木をおこしたよ 大垣市 こうとくゆかな(小三)

春雨は、絹糸のようであり、静かなしつとりとした雨と言われています。木々や草の芽にとつては、とつても幸せ、恵みの雨となりますね。作者も庭木や通学路の草などの様子を見て詠まられたでしょう。わたしたちも顔を洗うと目がさめると同様に素直な気持ちを詠まれたのですね。  
すてきな素直な句ですね。

くわふるうそばでもねてるひき蛙 大垣市 西本 多恵(小四)

誰かと一緒に畑仕事をされていらつしやるのですね。一鍬耕やされた時に冬眠中の蛙がひよこり現われたのですね。しかし、びくともせず、まだ眠そうにしていたのですね。  
とつてもよく観て作句してますね。蛙も「まさか」と思ってるのでしょうか。ていねいに蛙の様子を観ての句はすてきですね。感動的です。  
素直に表現された句ですね。

ランドセルきょうからわたしもいちねんせい 大垣市 廣瀬 美貴子(小一)

一年生になつて、ランドセルを背負つてみての様子を詠まれたのですね。一年生になつて、友達のことや勉強のこと遊びのことなどともうれしく楽しいことばかりだと思えます。きつとランドセルを家で何回も背負つてみて、ランドセルと会話をされていらつしやるのですね。  
これから楽しみがどんどん増えていくことでしょうね。  
素直な気持ち、感動を大切にすてきな句ですね。

秀逸

うめのはなかぜにぎふんとふきとばす 大垣市 なかい しおう(小二)

つくしさん雨でしよんぼりどうしたの 大垣市 名ばた さき(小三)

野や山に色をつけてく春の風 大垣市 かわ本 じゅり(小三)

タンポポは夜はぐつすり空の下 大垣市 森島 啓司(中一)

道ばたで仲間と光るはるじおん 大垣市 野川 麻帆(小四)

ばしようさんさくらのかさではいくよむ 埼玉県さいたま市 小林 和花子(小二)

乗れるかな桜のじゅうたん川下り 大垣市 大屋 翔豪(小四)

じんちようげ夜空をそめる木星と 大垣市 西本 多恵(小四)

まんかいのさくらながめるてんしゆかく 大垣市 おおぜき あやか(六才)

入選

こんにちは一年ぶりねはるのかぜ 大垣市 えさき あやね(小二)  
 つくしでたわたしとおなじさんしまい 大垣市 すみ田 ゆな(小二)  
 春の川北の国へと帰る鳥 大垣市 吉川 しおん(小三)  
 ひなまつりいもうとしゅやくぼくついで 大垣市 はつとり そうた(小三)  
 つくしさんいっばいならんで大かぞく 大垣市 西野 としき(小三)  
 きものきてひなにんぎようとおそろいだ 大垣市 日び野 しおり(小三)  
 さくらがねゆらりゆらりとまいおちる 大垣市 内田 みおり(小三)  
 春浅し奏でるこのはさわざわと 大垣市 林 葵 生(小六)  
 ハルジオン仲間と共にそよいでる 大垣市 野川 未帆(小六)  
 先輩の涙ながれるお別れ会 美濃加茂市 成田 秀真(中二)

入選

ひなを出し幼き頃を語る母 美濃加茂市 木股 紗弥(中二)  
 桜見てばしように負けぬ句を作る 大垣市 大屋 翔豪(小四)  
 川の上さくらがきれいなむすびの地 神奈川県川崎市 神谷 優奈(小五)  
 さくらみてあるいてきたよばしようかん 瑞穂市 青山 結奏(小二)  
 うれいちご昨日ひよどり今日私 大垣市 西本 多恵(小四)  
 舟下り水門川にさくらまう 大垣市 立川 果暖(九才)  
 祖母と見た芭蕉の旅と花見かな 本巣市 臼井 望來(九才)  
 桜ふり笑顔あふれるたらい舟 大垣市 平井 湖都(十二才)  
 むすびの地わたしも来たよ芭蕉さん 千葉県船橋市 片山 りさ(八才)  
 まんかいのさくらのしたでらんどせる 大垣市 おおぜき あやか(六才)

選者吟

陽を浴びる明日は咲かんと牡丹の芽

勝

子